

【各会計の主な増減説明】

1 ページ目の各会計予算総括表のうち、前年度当初予算と比較して増減の大きい会計の理由について説明。

特別会計では、

後期高齢者医療会計は、後期高齢者医療広域連合納付金の増などにより、前年度当初予算対比 1 億 6,061 万 4 千円、8.0%の増。

介護保険会計は、保険給付費の増などにより、前年度当初予算対比 7 億 4,927 万 9 千円、5.7%の増。

簡易水道事業会計は、災害復旧費の増などにより、前年度当初予算対比 5,173 万 4 千円、70.2%の増。

ばんえい競馬会計は、勝馬投票券発売収入の増などにより、前年度当初予算対比 14 億 7,399 万 5 千円、10.0%の増。

空港事業会計は、駐機場拡張工事の実施などにより、前年度当初予算対比 2 億 299 万 4 千円、18.5%の増。

企業会計では、

水道事業会計は、量水器整備事業費の減などにより、前年度当初予算対比 5 億 8,887 万 4 千円、7.9%の減。

続いて、2 ページ目の一般会計歳入の主な増減について説明。

第 5 款 市税は、地方財政計画の伸び率等を勘案し、前年度当初予算対比 4 億 2,387 万 5 千円、1.9%の増。

第 17 款 株式等譲渡所得割交付金は、平成 28 年度決算見込に地方財政計画の伸び率等を勘案し、前年度当初予算対比 1 億 2,331 万円、44.1%の減。

第 18 款 地方消費税交付金は、平成 28 年度決算見込に地方財政計画の伸び率等を勘案し、前年度当初予算対比 2 億 9,051 万 1 千円、7.4%の減。

第 40 款 地方交付税は、地方財政計画等を勘案し、普通交付税 135 億 1,384 万 7 千円、特別交付税 4 億 3,916 万 3 千円、合計 139 億 5,301 万円を計上。前年度当初予算対比 3 億 5,661 万 6 千円、2.5%の減。

第65款 道支出金は、農業生産体制強化総合推進対策事業費の減などにより、前年度当初予算対比
2億3,482万1千円、4.4%の減。

第90款 諸収入は、農林水産業費貸付金元利収入の増などにより、前年度当初予算対比
4億4,825万6千円、3.4%の増。

第95款 市債は、臨時財政対策債の増などにより、前年度当初予算対比 4億7,280万1千円、9.7%の増。

次に、3ページ目の一般会計歳出の主な増減について説明。

第10款 総務費は、清流の里福祉センターの建設費の減などにより、前年度当初予算対比 1億5,338万9千円、
6.7%の減。

第15款 民生費は、年金生活者等支援臨時福祉給付金の減などにより、前年度当初予算対比 2億7,500万3千円、
0.9%の減。

第20款 衛生費は、汚水処理施設共同整備費の増などにより、前年度当初予算対比 2億5,140万円、5.8%の増。

第30款 農林水産業費は、農業生産体制強化総合推進対策事業費の減などにより、前年度当初予算対比 8,662万6千円、2.4%の減。

第35款 商工費は、空港事業会計繰出金の増などにより、前年度当初予算対比 1億1,730万1千円、1.4%の増。

第40款 土木費は、公営住宅建替事業費の増などにより、前年度当初予算対比 2億9,430万2千円、5.3%の増。

第50款 教育費は、冬季アジア大会開催費負担金の減などにより、前年度当初予算対比 1億5,472万5千円、2.9%の減。

第53款 災害復旧費は、道路橋りょう災害復旧費など、前年度当初予算対比 1億4,382万4千円の増。